

座り込みの水 俣漁民説得へ

あす関係者が上京

水俣病関係の被害補償金一億八千三百五十万一千円を新日鐵水俣工場に要求「あくまで地元交渉を」とする七日上京、同工場本社前で座り込みをつづけている水俣市漁

協の松田組合長と組合員三十四人について、水俣市議會所一郎氏を委員長とする水俣病対策委では、

十三日午後おそくまで緊急委員会を開き対策を協議した。

その結果、十四日対策委から斉所委員長、鬼塚義定副委員長、市執行部から石原助役らが十六日上京して東京で不祥事が起きないよう、また漁民が帰るよう働きかけるとともに水俣市では知事のあつせんばかりでなく市長、市議をまじえたあつせん委をつくり解決を図りたいと漁民に伝え説得に乗り出すことになった。